

令和5年度第2回滋賀県総合教育会議2023.7.21

ひとつぶてんとう園代表 西村 静恵

その他

- 滋賀県フリースクール等連絡協議会副会長
- 不登校当事者アンケートチーム
- ここから始まる不登校プロジェクト@近江八幡
(東近江圏域サポートブック作成)
- 2022滋賀県不登校対策研究会議委員
- 2022近江八幡市子ども子育て会議委員



0歳児からのフリースクール

対象：妊娠時期のお母さんから高校生（現在は中・高生なし）

＝切れ目のない連続的な伴走

特徴：未就学児は親子登園・月曜日は小学部親も登園

産前・産後
サポート

幼児部
自主保育

小学部 1

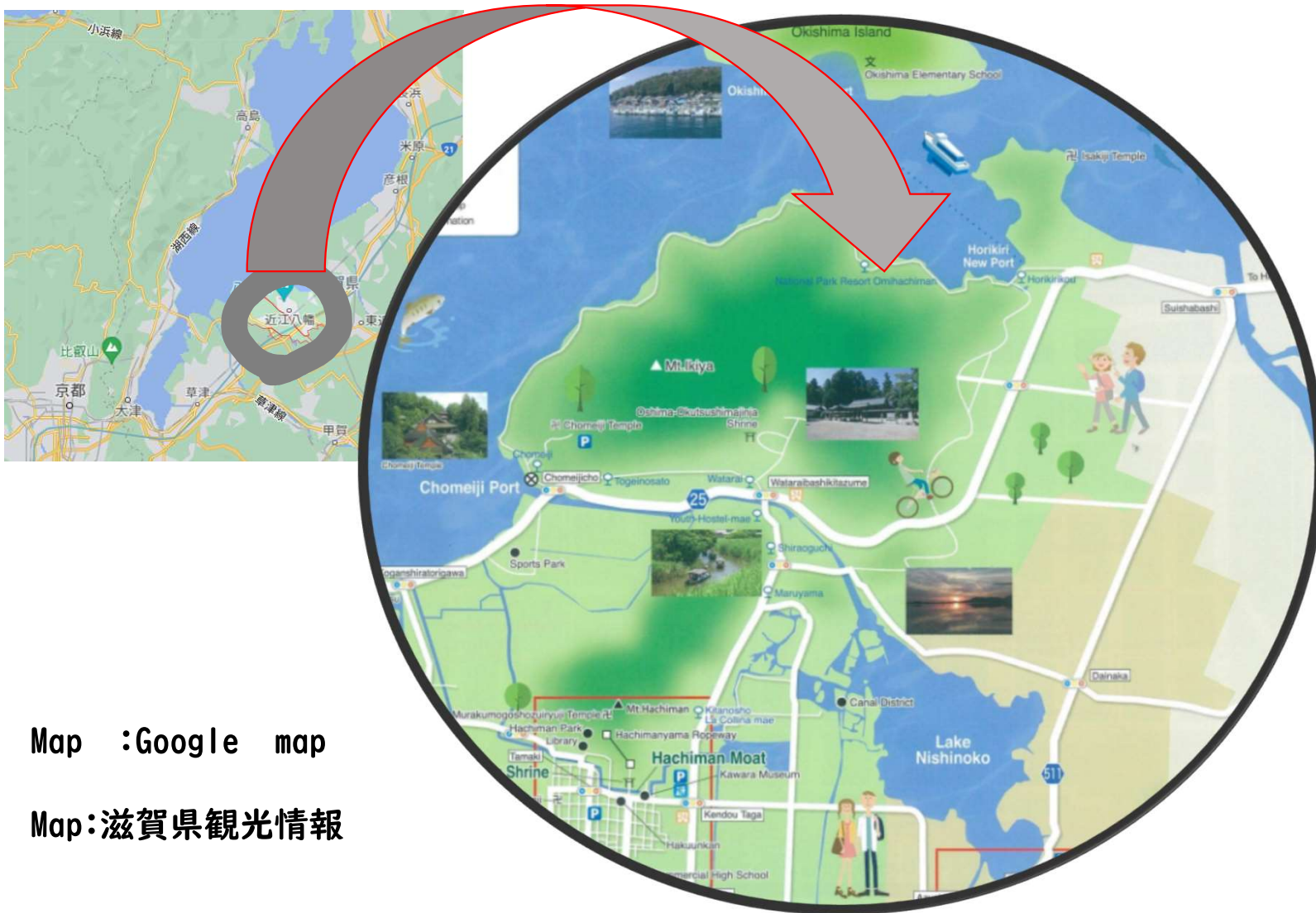
(他居場所や学校と併用)

小学部 2

(ひとつぶてんとう園のみ)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
幼児部合同	幼児部合同	幼児部合同	■	■
小学部-1合同	小学部-1合同	小学部-1合同	■	■
小学部-2合同	小学部-2合同	小学部-2のみ (子どもだけ)	小学部-2のみ (子どもだけ)	小学部-2のみ (子どもだけ)

わたしたちの学びの場：基本近江八幡市・滋賀県下地域を使い学ぶ場



Map :Google map

Map:滋賀県観光情報

西の湖・山・琵琶湖をはじめ豊かな自然と『新』と『旧』の文化が融合する地域の資源と環境全体を イベントではなく日常的な学びの場としている

合同活動日

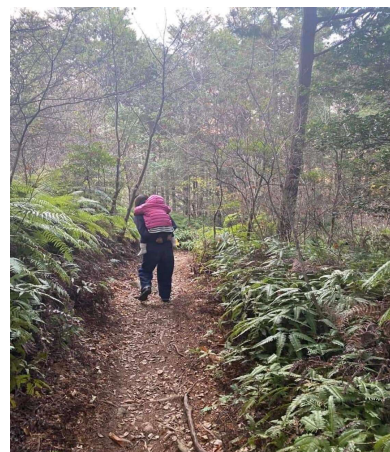
※活動の一部



西の湖へ散策



琵琶湖



山 (子どもを負い登るときも)



西の湖園地



火をおこす



運動会



幼児期からの性教育



BIWAKOビエンナーレ



佐川美術館



琵琶湖博物館



山 (毎週月曜日)



山 (雨でも登る)



安土城考古学博物館

異年齢・親子同伴の合同活動で学ぶこと:色々な場所に出かけ、様々な活動を行うが『イベント』が目的ではなく自分から興味・関心をもつ機会となり得る数々の引っかかるフックの中で『活動の過程にある学び』が目的

【子ども】：五感で感じ吸収し養う/自分の頭で考える学び

【おとな】：自分の価値観、物差しを取り除き子どもと

『同じ目線』 『対等』になることの学び

小学部_2 (街がクラスルーム) ※活動の一部



料理



ろくろ (陶芸)



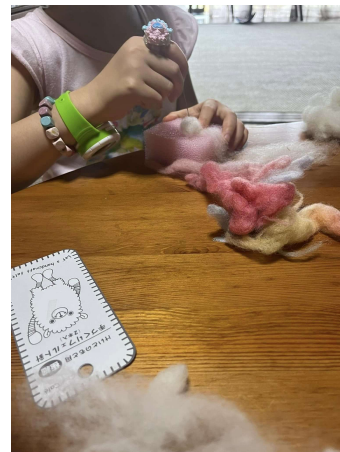
投票見学



高校生で会社を
立ち上げた方から
お金や経済の
話を聞く



大工さんに道具や仕
事について学ぶ



羊毛 (常備)

小学部_2:街がクラスルーム=街の大人たちに学ぶ/自分の
自由な発想力からの実行と確立

【子ども】何をするにも自分の頭で考え選択し、更にその
選択を人とどう紡ぎつくっていくか。

失敗してもいい、練習してもよい安心な場所。

【おとな】子ども達の潜在能力をどのように表に出し引
き伸ばしていくかの挑戦

その他のとりくみ

- Workawayシステムにより海外の人と接点と交流
- 可能な学校の校長や担任との積極的な情報交換
- 可能な学校との連携
(見学に来てくれたり月に一度担任生徒と過ごしてくれる先生も)
- 保護者参加を設けることで丁寧な相談/サポート
- 学校復帰を前提にはしていないけれど、学校復帰へ展開した子どももいる



連携や不登校への理解を進めるうえで聞かれる声や心配事

- 勉強は？
- 集団行動は？



森で算数（スウェーデン）



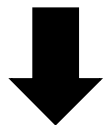
廃業した時計屋で時計を学ぶ（算数/創作など）



焙煎からのチョコレートづくり（計算（算数）/理科/家庭/計画/国語など）
計算できる

不登校とは

おとな達の無理解・非寛容で生まれる言葉



大胆な意識の転換が必要→（県に先導していただきたい）

不登校対策（意識の転換）とは

- 学校（公的機関）以外って何？という視野の狭さを手放すこと
- 学校以外の学びの場への先入観を手放すこと
- 先生や学校のタイミングではなく、こどもの段階とタイミングを知ること

教育機会確保法/3月末に文科省が出したCOCOLOプランも学校復帰を前提にしていないう『不登校を減らす』
『不登校をどうしよう』という発想ではなく、学校以外の学びの場を選択する子どもたちの権利の保障すると
明確に打ち出している。

学校に行く行かないに関わらず、子どもたちの人権の問題であるとの認識が必要。

- ・・・にもかかわらず不登校対策として、いまだに
『学校復帰前提』を掲げていたり『初期対応』をいわれるが、大事なものは『その子のタイミング』
タイミングを間違えたり、間違った登校刺激をあたえることが命取り。
- ※『明るい不登校』さんが出している不登校の段階表など、子どもたちの声を是非参考にしてご活用いただきたい。